

いいじま弘之活動報告

平成29年3月
平成29年10月

「平成29年度 第3回定例会」

平成29年度札幌市議会第3定例会において、代表質問の機会をいただき、札幌市の政策重点項目に加え、まちづくりや子育て対策にかかわる議論をさせていただきました。秋元市長からはいずれも前向きな政治姿勢を引き出すことができ、引き続き、札幌市民のため、地元西区民の皆様のために活発な市政活動を展開してまいります。



代表質問項目（平成29年9月26日）

1. 市長の政治姿勢について

- ① 市政執行と財政
- ② 新たなまちづくり
- ③ 経済を支えるための施策
- ④ 冬季オリパラ招致・スポーツ関連施策
- ⑤ 民泊の実施に伴う安全・安心の確保について
- ⑥ 町内会に関する新たな条例の制定について
- ⑦ 郷土資料館の今後のあり方と市の関わりについて
- ⑧ 地方公共団体における内部統制制度の導入について

3. 安全安心な市民生活の向上について



2. 子どもの育成支援について



4. 教育の推進について

札幌市の骨格道路網（札幌西インターチェンジ）

札幌規格化

Q 札幌市の新たなまちづくりにおける市内の骨格道路網のうち、特に交通混雑の悪化が見られる札幌西インターチェンジは観光や付近の医療関係者からも高速道路へのアクセス向上が求められ、西区・手稲区の住民の方々からフル規格化を要望する声が寄せられていることから、札幌市の認識を伺いました。

A 札幌自動車道札幌西インターチェンジのフル規格化は沿道への建物の影響など課題も多く、事業規模も大きくなることから予想されます。札幌市としては新川インターチェンジ出口渋滞緩和も含めた様々な観点からNXECC0東日本や国と意見交換を行い、西区方面への円滑な交通の確保に努めてまいります。



冬季オリンピック・パラリンピックの招致

Q 冬季オリンピック・パラリンピックの札幌市の招致活動について、IOCから公表された新たな招致プロセスに対する受け止め方と今後の対応について伺いました。

A 札幌市では2026年の冬季オリンピック・パラリンピック開催都市として、来年3月に正式な立候補を予定しています。国際オリンピック委員会（IOC）が示す新たな招致プロセスは招致に向けて経費削減を図ろうとしている札幌市にとって、歓迎すべき内容であり、コストを抑えた持続可能な大会の実現に向けて、日本オリンピック委員会（JOC）と様々な協議を重ねていく方針です。

市民の皆さまが、夢の描ける街づくりと活力のある街づくりに取り組めます！



郷土資料館の今後の在り方

Q 地域の風土や文化、歴史を伝える資料は個人や地域の郷土資料館の保管が中心で、老朽化した施設の維持管理や資料の劣化、担い手問題などの諸課題を抱えているのが現状です。そこで、郷土資料館の今後の在り方や市の関わりについて、市の認識を伺いました。

A 郷土資料館の管理運営の問題は市としても重く受け止めており、自然史を主体とした博物館の構想には秋元市長も「札幌全体の歴史の保存のあり方も議論しなければならぬ」と認識しています。市では歴史的資産全般の保存活用の在り方を検討するための外部委員会を立ち上げ、各種調査を行っています。現在は他施設との連携や既存の補助制度の周知徹底、担い手発掘への支援などに取り組むとともに、博物館構想の見直しも進めてまいります。



子どもの待機児童対策

Q 増大する保育ニーズへの対応として、今後確保すべき待機児童の整備量と女性の活躍に向けた取り組みについて質問しました。

A 待機児童対策は平成31年度末までに4000人規模の整備が必要であると見込んでいます。女性の就業率の更なる上昇も考慮し、引き続き、保育を必要とする保護者が安心してサービスが受けられる環境整備に取り組んでまいります。また、多様化する保育・幼児教育のニーズに対応するため、順次移行を促進している認定子ども園についても、満たすべき基準の特例措置など必要な情報を的確に提供することで、早期の移行を推進してまいります。

「いいじま弘之」ホームページからお気軽にねます

皆様の声をお聞かせください

いいじま弘之 政務調査室

TEL (011) 663-3322

FAX (011) 662-7756
E-mail info@ijijima-hiroyuki.jp



〒063-0062 札幌市西区西町南8丁目4-5